



越谷にプレーパーク

をつくる会 **通信**

71号
9月発行
2024

わくわくこしがやカー出動中!

ミッション!

自由な遊び場を増やそう!



いろいろなところに行くよー!
遊びにきてねー!

皆さんは子どもたちが外で遊ぼうとしたときに友達と集まる場所として、どのような場所を想像しますか?

日本で昔から放送されている某国民的アニメでは、住宅街の真ん中に、大きな土管が3本重ねてある空き地が描かれていて、主人公たちが集まって、そこから物語が始まります。そこで野球をやって、隣のお家の盆栽にボールを打ち込み、おじいちゃんに怒鳴られながらも、また次の回では懲りずに野球をする。土管をステージに見立ててリサイタルをする。そんな子どもたちが集まる、なんでもない空き地が、以前は遊び場として機能していたように思います。

では、現在の日本はどうでしょうか? 各所には公園が整備され、遊具も設置され、場所としてはたくさんあるように思います。ですが、「ボール遊びは危ないからやめようね」「近所にお家が多いから、大声は出さないようにしようね」など、子どもたちのやりたい遊びを制限してしまうような場所が少なくありません。子どもたちの遊び場に大人の手が入り込んでしまい、子どもたちだけでかつての自由な遊びができる「空き地」を作り上げることは、難しくなっていました。

そのような中、越谷市では「わくわくこしがやカー」という車に遊び道具とプレーリーダーを乗せて、越谷市内のあらゆる場所に遊びを届けようと、7月から動き始めました。

私達が行っているプレーパークは、子どもたちのやりたい気持ちから生まれた自由な遊びを何よりも大切に、禁止事項をなるべく少なくしています。また、プレーリーダーという専門スタッフが子どもたちの遊びたい気持ちを引き出すお手伝いをします。

かつての子どもたちのように自由に使える「空き地」を取り戻すことは容易ではないと思います。しかし、その中で子どもたちの自由な遊びを取り戻すために何ができるか。越谷市内の各所にわくわくこしがやカーで出向き、プレーパークを開催することによって、少しでも子どもたちのやりたい遊びを思いっきりできる環境を増やしたい! 私達も試行錯誤しながらトライしていこうと思っています。

(ぐんちゃん)

